

あかるい生田

道路の安全のため

街路樹の管理を早く

井口まみ市議、3月議会で要求

各地で街路樹が大きくなり、道路の見通しが悪くなったり、根が歩道を押上げたりしています。おとしの十二月議会で井口市議は、「予算を増やし、せんだや植え替えなどを的確に行うようにしてほしい」ととりあげ、環境局長が「基準を決めて植え替えなども行う」とこたえていました。

今回の議会に新しい予算案が提案され、街路樹管理費が昨年度よりも約一億四千万円増額されました。これをうけ、三月七日の予算審査特別委員会で井口市議は、「道路の安全性の確保のための対策は、急いで行ってほしい」と求めました。

丸山環境局長は「植え替えをする場合などの基準の策定を、来年度以降行う」「道路の安全性を高



3月議会で質問する井口まみ市議員

めるための対策は、基準の作成を待たずに行う」とこたえました。

井口市議は、「市民は、緑豊かな美しい街並みを作り出す街路樹を愛しているからこそ、さまざまな要望を持っている。それを的確に把握し、対応するために、担当である公園事務所に市民が気軽に連絡できるように広報も行うべき」と求めました。

街路樹のトラブルこんなことで困っていませんか

街路樹の管理では、さまざまな問題が寄せられています。この機会にまわりを見回してみましよう。

- ◎葉が茂ると信号が見えない。道路の見通しが悪くなる。
- ◎街路灯に葉が覆いかぶさり、暗くなる。
- ◎根がアスファルトを押し上げ、歩道がぼこぼこになっている。
- ◎害虫が発生する。



菅北浦のバス通り。モミジバフウの根上がりで害公根を切ってもらおうとともに、害虫対策も強化されています。

2008年3、4月

市議会報告
日本共産党
市会議員
井口まみ

(発行)
日本共産党市会議員団
川崎市川崎区宮本町1
電話 200-3360
FAX 245-4140
http://www.iguchi-mami.jp
メール:mail@iguchi-mami.jp

落ち葉の掃除は

どうすればいい

「街路樹の落ち葉の掃除がたいへん」という声もたくさんあります。市の公園事務所だけではやりきれません。井口市議がこの対策を求めたのに対し、丸山環境局長は「住民の皆さんで『街路樹愛護会』を作っていたいただき、協力していただきたい」とこたえました。

井口市議は、「ユリノキなど、巨木になって落ち葉に本当に困っている地域もある。植え替えるならどんな木を選んだらいいかという点も、よく住民と話しあって、合意することが必要ではないか」と語っています。

※ 街路樹愛護会とは

街路樹やグリーンベルトの清掃を行う市民の団体。数名でも結成でき、公園事務所に届け出て年間を通じて活動すると、若干の補助金が支給される。多摩区内には、京王稲田堤駅前のロータリーから西菅団地までの街路樹を見る「モミジバフウ通り愛護会」など二〇数団体が活動している。

生田浄水場はなぜ廃止されるのか

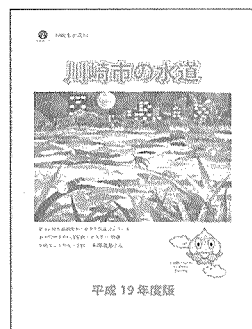
その1

※前号で生田浄水場が廃止される計画であることをお知らせしたところ、多くの方から「なぜなのか」と問合せがありました。短い文章では十分説明しきれないため、何回かに分けて、川崎市の水道の歴史や今の計画について、お知らせします。

水道事業というのは、重要なライフラインである水を、安全に途切れることなく市民に供給するという大切な役割を持っています。また、川崎市には工業用水道事業というものもあり、臨海部の工業地帯に、工業用水を安定的に供給するという仕事もしています。

水は命にかかわるため、市民に責任を負うという観点から、市の人口の最大値を推計して、最もたくさん使うときで1日何キロリットルの水が必要かということ、条例で定めることになっています。この三月、条例を改正し、今の川崎市の計画給水人口は約一四七万人、上水の一最大給水量は約六三万立方メートルと定められています。

明治以後、人口も産業も急速に発



川崎市発行「川崎の水道」小学生向けの副読本歴史など詳しく載っている

展した川崎市は、水の需要も急激に伸び、それを追いかけて水を確保し、設備投資をしてきました。

戦前は多摩川の水を取り入れていましたが、多摩川の水を割り当ててもらえなくなったことや、水質も悪くなったことから、飲み水（「上水」といいます。上水を供給するのが「水道事業」です）は、井戸と相模湖を水源とする計画に移っていきま

す。昭和一九年、菅の井戸水の取水が始まります。相模湖が完成するのが昭和二二年。相模湖からの水は昭和二九年からトンネルを通して流れています。以来、多摩川の水は工業用水にしか使っていません。それからもどんどん人口が増えるので、城山ダムを作って、新たなトンネルで運ぶなどの投資をしてきました。昭和四三年の計画給水人口は七三万人でした。

この翌年、県、横浜市、川崎市、横須賀市が出資して、酒匂川から水を引く「神奈川県内広域水道企業団」が設立されます。

ご意見、ご感想をお寄せ下さい。

(つづく)

地域交通安全員の配置は一日5時間に!

井口市議、3月議会で質問

危険な交差点などに立って小学生の登下校時の安全を守ってくれているのが、「学童等交通誘導員」と「地域交通安全員」の方たちです。同じように街角に立っているのですが、この二つの制度はまったく違います。二年後には一本化されるのですが、問題点が明らかになりました。

学童等交通誘導員はあと二年

きちんと制服を着て朝も夕方も立っているのが「学童等交通誘導員」です。県の制度でも補助金を出して、一日五時間の勤務になっています。長い方は二〇年以上この仕事をしており、子どもの名前も覚えて、とても慕われている存在です。県はこの間、退職後の補充をせず、ついにこの「学童等交通誘導員」の制度を、平成二十一年度で廃止することにしました。

地域交通安全員は一日一時間

学童等交通誘導員が減っていくなかで、「危険な交差点には誰か立ってほしい」と強い要望に市の教育委員会が「臨時交通整理員」を配置しました。これが昨年から「地域交通安全員」と名称を変えました。基本的には朝一時間のみで、学校から要望があれば放課後一時間半は配置します。制服もなく、黄色い旗と腕章が支給されるだけで、給与もわずかな時給です。川崎市は、学童等交通誘導員が廃止されたあとは、この地域交通安全員の制度で、子どもたちの安全を守るとしています。

現在、近隣に配置されている

地域交通安全員

生田小学校区：小田急線読売ランド駅上りホーム(二人)、ひろ寿司前(以上朝のみ)、小田急線生田駅下りホーム(午後のみ)

井口市議、朝の様子を視察

そこで井口市議は、昨年七月から中野島中央通商店街の交差点に配置されている地域交通安全員の方の仕事を視察しました。

道路が狭くて信号待ちの待機場所もない交差点に、小学生がどつとやってきました。ちよろちよろし



たくさんの子どもが通う朝の交差点で、交通整理をする、地域交通安全員

川崎市は今年2月、中原区井田にある、障害者施設がいくつも集中している「川崎市総合リハビリテーションセンター」を再編整備する計画を発表しました。老朽化した施設を改築するにあわせ、組織も再編するといふものです。このなかで、「施設を積極的に民営化する」ことが方針としてうたがわれています。

市内には、多くの障害者施設があり、社会福祉時法人などが民間でがんばっています。しかし、障害者自立支援法ができてから、事業所への報酬が極端に減り、どこも運営に四苦八苦しています。

た川崎の歴史を受け継ぎ、国基準よりも多い人員配置になっています。それでようやく、一人一人の障害者に必要な支援ができる体制なのです。このまま民営化すれば、それまでの支援が受けられなくなるのは明らかです。

障害者施設の民営化は福祉の重大な後退

リハビリテーションセンターの再編整備計画の発表も突然でも戸惑っています。福祉に冷たいということがこういうところにも現れています。

ている子どもたちの危ないこと。安全員さんは少しも気が抜けません。ここには一昨年まで学童等交通誘導員がいましたが退職。一年半さんさん探して、ついにPTAのなかからお願ひしたのでそうです。一日一、二時間のために、毎日自分の生活を犠牲にして、こんな責任の重い仕事をする人はなかなか見つからないのです。

長く続けられるよう改善を

井口市議は三月七日の予算審査特別委員会で、「一日五時間立つことが何よりも子どもの安全の確保に必要。そしてそれがプロとして働き続けられる条件」とただし、木場田教育長は「業務内容は『一人一人の顔が見える』、蓄積が必要なもの。『業務遂行にふさわしい経験豊かな方をお願いしたい』とこたえ、二年後の体制は、それまでに検討する」とこたえました。

多摩スポーツセンターの事業を行う事業者が決定 2010年12月開館に向けて始動

川崎市は三月一九日、(仮称)多摩スポーツセンターをPFI事業で実施する民間事業者を決定したと発表しました。

この事業は、設計、建設から運営まで一貫して民間事業者が行う手法で、まずこの事業を請け負う民間の事業者のグループを募集します。その後このグループを中心に株式会社を設立し、実際の建設に入ります。

落札したのは、

大和リース株式会社 グループ
代表企業 大和リース株式会社横浜支店

構成企業 株式会社ハリマビステム
株式会社日本水泳振興会
株式会社梓設計

とのこと。落札金額は三十四億八千六百万円(消費税、地方消費税を含まない)。二〇一〇年十二月開館をめざします。

温水プールを作る運動を始め、さまざまな市民の要望を議会ですべて取り上げてきた井口まみ市議は、「これからも市民のためのスポーツセンターにするために意見を述べていく」と語っています。

落札者の提案外観イメージ図
本図は参考資料として提出されたものであり、実際の建築イメージとは異なる場合があります。

